

蕨市音楽家協会

# バロック音楽を貴方に in わらびくるる

2020年4月26日(日)

14:00 開演 (13:30 開場)

全席自由 1,000円

未就学児の入場はご遠慮ください。



前田有文子(Fl.)



小林瑞希(A.Sax.)



松崎義一郎(Bsn.)



遠藤理史(P.f)

## PROGRAM

J.J.クヴァンツ トリオソナタ ハ短調 J.J.QUANTS-Trio Sonata c minor

バロック音楽のお話—ヘンデル フルートソナタをテキストに

J.S.バッハ—無伴奏組曲 1番ト長調 BWV1007

J.S.BACH—Suite for solo instrument G major  
—平均率クラヴィーア曲集第1巻第1番ハ長調  
BWV846

Well Tempered Clavier Book1.No.1

A.ヴィヴァルディー

コンチェルトト短調 F.X II N.4

A.VIVALDI Concerto g minor 一他一

※プログラムは変更になる場合がございます。

チケット取扱い/くるる・蕨市民会館 1/24発売  
蕨市立文化ホールくるる 048-446-8311

JR蕨駅西口より 3分、線路沿い。駐車場はございません。

この公演は、(一財)蕨市施設管理公社の助成により成り立っています。

主催/蕨市立文化ホールくるる  
共催/蕨市・蕨市教育委員会  
制作/蕨市音楽家協会



蕨市田楽茶飲食組合  
<http://warabi-net>

チケット半券でサービスが受けられます。



—原点回帰—

早いもので、私がバスーン(英語でバスーン、ドイツ語イタリア語等はファゴット)を始めてから50年以上になりました。その間、幾度となく頂いたのが、「何でバスーンを始めたの?」というご質問。その都度「なんとなく~」とか、「密かに目立ちたいから~」と謎を残したりしてきました。今こそ、真実を!と言うほどでもありませんが、実は「バロック音楽」に興味があったのです。

この音楽の特徴のひとつに「通奏低音」と呼ばれる声部があります。チェンバロ等の鍵盤楽器の左手と同じ音を演奏するパートで、バスーンやチェロ、ヴィオラダガンバ等が受け持っています。メロディはフルートやオーボエ、ヴァイオリン。こういったソロ楽器を自分の手のひらの上で踊らせる喜び、ここがツボだったんです。

オーケストラや吹奏楽の大編制楽器群で大人数のお客様に向けて演奏する魅力、迫力、もちろん嫌いではありません。お仕事としてもアメリカのオーケストラやロシア、ウクライナ、そして日本国内の数多くのオーケストラで演奏してきました。むしろそういった演奏がメインでした。

バロック音楽は、もともと限られた上流階級のパトロンのために、小さなサロンで演奏されていた音楽。くるでの開催はちょうど良い雰囲気だと思います。

私が立案企画したバロック音楽だけのコンサートは今回が初めてです。通奏低音を演奏しているだけだと、音楽的主導権を主張するのは難しいと思っていたから。最近になって、蕨で出会ったプリマドンナたちを手のひらの上で自由に踊らせたくなってきました。

本日、オリジナルのバロック音楽では出てこない楽器を編成に加えています。—サクソフォーン—が発明、特許申請されたのは1846年。バロック期から200年以上経っています。謂わばとても新しい楽器です。その分とても完成度は高く可能性も大きいと思います。

バロック期からあるフルートと新しいプリマドンナーサククス、蕨だけのサウンドをどうぞお楽しみに。

松崎 義一郎 (バスーンニスト)

前田 有文子 Yufuko Maeda

[Fl.]

武蔵野音楽大学卒業後、バリー市立音楽院留学。審査員満場一致の一等賞を得て卒業。プラハの春国際音楽コンクールにてディプロマ賞を受賞。東京フルートアンサンブルアカデミーメンバー。演奏活動の他に生涯学習としてフルートを楽しむ人達に指導を行い、好評を得ている。メイプルフルートアンサンブル、フルートアンサンブルわらび、フルートアンサンブルユフコ指導者。蕨市音楽家協会会員。

小林 瑞希 Mizuki Kobayashi

[A.Sax.]

洗足学園音楽大学卒業。大学在学中は毎年特別選抜演奏者に認定され、前田記念奨学金も2度得る。オーディション選出ソリストによる「管弦打コンチェルトの夕べ」に出演。2018年、サクサコールとして1stアルバム「ロシアンマスターピース(レコード芸術特選盤)」をリリース。蕨市音楽家協会会員。

松崎 義一郎 Yoshiichiro Matsuzaki

[Bsn.]

東京都出身、大阪芸術大学卒業後、桐朋学園にオーケストラ研究生として入学。米国フィラデルフィア音楽院、ニューイングランド音楽院大学院留学。日本ファゴット協会監事。蕨市音楽家協会会長。 <http://www.bassoonforyou.com/>

遠藤 理史 Masashi Endo

[P.f.]

蕨市立南小学校、第一中学校を経て、東京音楽大学ピアノ専攻卒業。実技卒業試験において次席を獲得。卒業演奏会に出演する。これまでに七回のリサイタルを開催。ソプラノの故・丸山富士江氏と七回のジョイントコンサートを開催する。ソロの他、声楽、室内楽、合唱のアンサンブルなど多岐に渉る演奏会に出演する。小中学校でのアウトリーチ活動なども行っている。蕨市音楽家協会会員。女声合唱団Mion・正ピアノニスト。蕨男声合唱団・練習ピアノニスト。2020年の「川口ぞうれっしゃ合唱団」のピアノニストを務める。